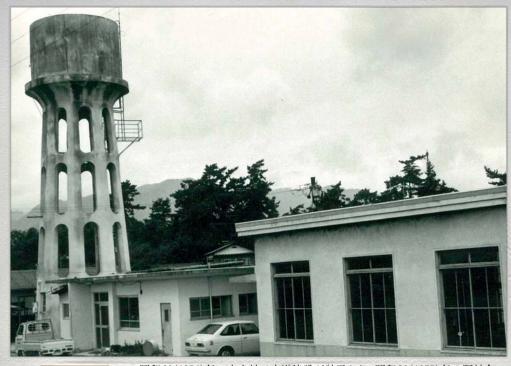
※文書館では、まちの風景や催事などの古い写真を収集しています。原本はお返し

情報の提供をお願いします。【文書館 ☎3・1010】

しますので、



このコーナーは、文書館に保存している古い写真を皆さんに紹介します。



当時としては画期的でしたよ。

編集

懐かしの1枚

簡易水道配水塔 昭和50(1975)年頃 豊中町

昭和29(1954)年に本山村で水道建設が計画され、昭和30(1955)年の町村合 併により豊中村の事業として引き継がれ、同年に簡易水道が完成している。 当時、農村部に水道が敷設されることは画期的なことであり、本山村で事 業計画がたてられる時も賛否両論があったという。簡易水道の完成により、 良質な飲料水が確保できるようになった

覧いただきたいです。

面影をそのまま残す簡易水道配

使われなくなった今も当時の

水塔。近くに来たときはぜひご

ので、本当に怖かったですよ」 かない。当時は命綱も無かった 高さとなるとなかなかそうはい

ないから調査しようというこ とになって。業者の人と一緒に タンクが漏水しているかもしれ て怖かった思い出がありますよ 指さしながら語ります。 牧さんは円柱型の貯水タンクを 「そういえば、仕事をしてい

想い出の一ページ」

質な飲料水を確保できることは は300軒くらいでしたが、良 設されました。配水できる軒数 保するために写真の配水塔が建 た。そこで、良質な飲料水を確 れ、水質も良くありませんでし の地域では、水に金気が含ま 用していましたね。ただ、一部 料水にはほとんど井戸水を利 の伏流水(湧き水)に恵まれ、飲 は当時をこう振り返ります。 を22年間務めた牧則章さん(81 豊中町職員として、水道業務 「豊中町は宮川や財田川から

> ら楽々歩ける幅ですが、16mの る確認していきました。平場な 30㎝ほどの足場を伝って恐る恐 タンクにしがみつきながら、幅

そんなときは、管理用のはしご 知器が時々故障するんですよ。 ク内の水量を計測するための検 クに貯めておくのですが、タン で汲み上げた水をこの貯水タン 下深くにある井戸から、ポンプ に登って、修理していました」と クが据え付けられています。地 上部には貯水量10㎡の貯水タン 配水塔の高さは16mで、塔の

ゆとりを持って、花を眺めてみ 事に追われ、疲れていても、き れいな花を見るだけで元気が湧 花があるだけで、なんだか優し もならない風景。でも、そこに を癒やしてくれます。 センカ…。色鮮やかな花々は心 れます。桜、桃、菜の花、キン こちらで、いろんな花が咲き乱 いてきます。 い気持ちになれます。日々の仕 皆さんも、ちょっとだけ心に

春 の時期には、市内のあちらがやってきました。毎年こ

ませんか。きっと、幸せな気分 になれますよ。 普段車で走っていても、気に